



静岡県議会議員
鈴木 啓嗣

ご挨拶

4月の統一地方選挙で静岡県議会議員の職責をいただき、10ヶ月が経とうとしています。これまでの議員生活では、初めて経験することが多く、大変充実した毎日を過ごしております。そして、12月県議会では初めて一般質問に立ち、静岡県そして地元地域に対する私の思いを語る事ができました。私が目指す議員の姿、それはまだ遥か遠くにありますが、その目標に向かい日々の歩みを止めることなく、一步一步進んでまいり所存で御座います。

現在の静岡県は、人口減少、災害対策、子育て、福祉、雇用、社会インフラの老朽化など、様々な課題を抱えていますが、一方で、富士山をはじめとする山並みから、浜名湖、遠州灘、駿河湾といった沿岸部まで豊かな自然が残り、県西部から東部まで特色ある様々な産業が発展し、物流

や交通の要所としても、二本の主要高速道路、鉄道、空港と全国的に有数の強みを持った地域です。地方議員とは、こういった地域の特性を的確にとらえ、強みを伸ばし弱点を補い、そして地域に利益をもたらすことが最大の仕事であると考えます。現在も様々な施策はとられておりますが、日々変化する状況の中、その時代に合った選択、決断をする必要が御座います。そのために、皆様とお話をさせていただき、皆様の声とともに、未来を見据え歩を進めてまいります。

県議会本会議質問項目

静岡県公式ホームページもご覧ください。質問・答弁を動画で見ることができます。



- 1.遠州灘海浜公園(篠原地区)基本計画の策定について
- 2.浜名湖の漁獲回復及び資源保護について
- 3.三方原用水の整備状況と今後の計画について
- 4.CSF(豚コレラ)等の特定家畜伝染病に関する防疫訓練の状況について
- 5.災害から命を守るための自助、共助の推進について
- 6.本県における多様な能力を持つ優秀な人材の確保について

県政の報告会を実施中



県政に関わることで、県民の皆様のご意見等、上記連絡先(事務所)までお聞かせ下さい。



自民改革会議
代表 竹内良訓

自民改革会議の代表に今年度就任致しました浜松市中区選出の竹内良訓です。歴史的な皇位継承によって、元号が平成から令和に変わり、新しい時代の幕が上がりました。自民改革会議は令和の時代においても、県民生活の向上に真摯に取り組み、県民ひとりひとりが幸せを実感できる静岡づくりに邁進します。

本県の景気は、緩やかな回復傾向にあり、有効求人倍率も安定して推移してはいるが、人口流出が続く現状下において、雇用・経済対策の充実が喫緊の課題として挙げられます。また近年は大規模な自然災害が全国各地で起こっており、自然豊かな静岡県においても例外ではありません。これまで以上の危機管理対策が重要な課題となります。

この他、多様化する教育問題、福祉問題等、山積する諸課題を乗り越え、静岡県の輝かしい未来像を県民に示すことで、人口流出に歯止めをかけ、男女問わず各世代での労働人口を確保し経済の安定と好循環を手に入れることで、本県の更なる発展に寄与していく所存です。

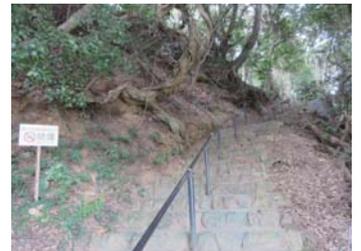
我々、自民改革会議は、これからも県民目線を第一義とするとともに、議会人としての誇りを胸に、一致団結し、結果を出すことで、県民の負託に応えたいと考えます。今後とも皆様のご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

政務調査活動等

厳しい財政の中でもやるべきこと事はたくさんあります。地元西区各地域や、関係議員の皆さんと連携し尽力します。



東神田川整備・氾濫対策と護岸工事整備中。



国の重要文化財に指定されている
舘山寺愛宕神社の斜面崩落対策。



浜名湖の漁獲回復及び資源保護
アマモ激減に対する調査と今後の取組み。



三方原用水の改良工事
末端施設の耐震化対策
老朽化対策。



遠州灘海浜公園(篠原地区)
公園基本計画の公表に
向かう今後の進め方。

委員会・議員連盟活動等 危機管理くらし環境委員会



<県内視察>

静岡ヘリポート・浜岡原子力発電所
災害発生時、敏速な対応が出来る
よう調査。



<青森県自衛隊視察>

東北防衛の考え方、災害派遣の状況を
調査研究し、今後の県政の参考とする。